

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 24 年 11 月 1 日 (2012.11.1)

【公開番号】特開 2012-37767 (P2012-37767A)

【公開日】平成 24 年 2 月 23 日 (2012.2.23)

【年通号数】公開・登録公報 2012-008

【出願番号】特願 2010-178770 (P2010-178770)

【国際特許分類】

G 0 3 G 21/00 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 21/00 5 7 0

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 9 月 12 日 (2012.9.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

シアニン系染料から成る近赤外線吸収色素と、有機ホウ素化合物と、を含む消色性トナーを用いて形成された記録媒体上の消色性トナー画像を消色するための加熱部と光照射部とを備えた消色部を有する消色装置において、

前記消色部は、前記消色性トナー画像が形成された前記記録媒体を所定速度で搬送する消色用搬送路を有し、

前記加熱部は、前記消色用搬送路を搬送される前記記録媒体上の前記消色性トナー画像を 140 度付近に温める加熱手段を有し、

前記光照射部は、消色用光源として、中心波長が 820 nm ~ 850 nm の波長範囲にある LED アレイチップを有する、

ことを特徴とする消色装置。

【請求項 2】

前記加熱部は、前記消色用搬送路を搬送される前記記録媒体上の前記消色性トナー画像を 140 付近に温める手段として、セラミックヒータを有する、

・ ことを特徴とする請求項 1 記載の消色装置。

【請求項 3】

前記消色用光源としての LED アレイチップの中心波長は、前記近赤外線吸収色素の第 1 吸収帯のピークよりも長波長側にシフトしている、

ことを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の消色装置。

【請求項 4】

前記消色用搬送路に対して前記記録媒体を線速度 15 mm / s e c 以上の速度で搬送する搬送手段をさらに有する、

ことを特徴とする請求項 1 乃至 3 の何れか一項に記載の消色装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

シアニン系染料から成る近赤外線吸収色素と、有機ホウ素化合物と、を含む消色性トナーを用いて形成された記録媒体上の消色性トナー画像を消色するための加熱部と光照射部とを備えた消色部を有する消色装置において、前記消色部は、前記消色性トナー画像が形成された前記記録媒体を所定速度で搬送する消色用搬送路を有し、前記加熱部は、前記消色用搬送路を搬送される前記記録媒体上の前記消色性トナー画像を140度付近に温める加熱手段を有し、前記光照射部は、消色用光源として、中心波長が820nm～850nmの波長範囲にあるLEDアレイチップを有するように構成される。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

この消色装置において、前記加熱部は、前記消色用搬送路を搬送される前記記録媒体上の前記消色性トナー画像を140度付近に温める手段として、セラミックヒータを有するように構成される。

この消色装置において、前記消色用光源としてのLEDアレイチップの中心波長は、前記近赤外線吸収色素の第1吸収帯のピークよりも長波長側にシフトしているように構成される。

この消色装置において、前記消色用搬送路に対して前記記録媒体を線速度15mm/sec以上の速度で搬送する搬送手段をさらに有するように構成される。